

「ピアノ解体&調律ショー」レポート
(協力：株式会社河合楽器製作所)

開催日：2022年8月29日 @イオンモール浜松市野

ピアノの中はどうなっているのか、なぜ音が鳴るのか。ピアノが鳴る仕組みについて、ピアノを分解しながら教えていただきました。講師は、株式会社河合楽器製作所の明坂さんと加藤さんです。当日は32の方が来場されました。

さっそく鍵盤を引き出し外していきました♪鍵盤には、羊の毛を使った白いハンマーがついていて、このハンマーが弦を叩くことでピアノの音が鳴るそうです。弦の太さや長さによって音の高さが変わります。中・高音部の鍵盤を1つ押すと、3本の弦が同時に叩かれるので、1音だけ鳴らしても音の厚みを感じられます。



ピアノを分解していくと、鍵盤の横についているネジを外して見せていただきました。この部品は外国ではミッキーと呼ばれるそうです。あのキャラクターそっくりですね(^_^)



ピアノの底には、響板と呼ばれる1センチメートルくらいの厚さの木の板があります。響板によって弦の音が大きく響くようになります。響板に使う木は水分が残らないように、物によっては10年くらい乾燥させる必要があるそうです！

解体ショーは、楽しく参加できるように、クイズを交えながら説明いただきました。また、講師を務めた調律師による調律ショーでは、チューニングハンマーという道具を使って弦の張りを調節し、間違っていた音を正しい音に直す様子も見る事ができました。普段見られないピアノの仕組みがわかる充実した時間となりました(^_^)/